

## 令和5年 総務大臣年頭所感



総務大臣

まつもと たけあき  
松本 剛明

### はじめに

明けましておめでとうございます。

昨年11月に総務大臣を拝命しました、松本剛明です。

着任以来、総務省は、国の根幹を支え、そして国民生活の基盤となる地方行財政、選挙、消防、情報通信、放送、郵便、行政評価、統計など重要な行政分野を幅広く所管する省だと改めて認識しています。

総務大臣として、緊張感をもって全力で職務に取り組み、国民の皆様が届くような政策が実現できるよう努めてまいります。

### デジタル変革への対応

岸田内閣の最重要施策である「デジタル田園都市国家構想」について、地方行財政や情報通信を所管する総務省として、その実現に向けて全力で取り組みます。

「デジタル田園都市国家構想」を実現するためには、地方におけるデジタル基盤の整備や、自治体DXが必要です。

このため、5Gネットワークの都市・地方での一体的整備や、地方における光ファイバの整備及び維持、データセンターの地方分散や、光海底ケーブルの整備などを進めてまいります。

加えて、次世代の情報通信インフラである「Beyond5G」について、法改正により恒久化された情報通信研究機構(NICT)の基金も活用して、研究開発や社会実装の加速化、知的財産権の取得や国際標準化を含む総合的な技術戦略を推進するとともに、量子通信、AI、宇宙などの重要な最先端技術の研究開発を推進します。

### 内外の環境変化への対応

急速な技術革新などによる内外の環境変化へ対応します。

急激に変化する国際情勢を踏まえ、情報通信分野においても経済安全保障を推進するほか、国際競争力の強化や国際連携の深化を図ってまいります。具体的には、本年、我が国で開催するG7やインターネット・ガバナンス・フォーラム(IGF)

等を通じ、「信頼性のある自由なデータ流通(DFFT)」の推進に加えて、それを支える質が高く強靱なネットワークインフラの構築や自由でオープンなインターネットの維持・推進等についての国際的な連携に向けて議論を進めてまいります。

あわせて、本年1月に、我が国の尾上誠蔵氏が国際電気通信連合(ITU)電気通信標準化局長に就任したところ、ITUとの協力をこれまで以上に推進してまいります。また、5G、光海底ケーブル、放送コンテンツ、郵便、消防、行政相談、統計など、総務省に関わる優れた技術やサービスの国際展開を進めます。

さらに、こうした技術革新や国際情勢等の急激な変化は、ビジネス環境、利用環境に大きな変化をもたらし、新たな課題も生じます。そのため、我が国の10年後の情報通信政策のあるべき方向性について、情報通信審議会に審議をお願いしてまいります。

昨年の一連の通信障害や災害時の通信障害を踏まえ検討してきました、非常時における事業者間ネットワークの相互利用について、事業者間ローミングの早期導入に向けて取り組むほか、複数SIM端末や公衆Wi-Fi等、ローミング以外の通信手段の利用の促進を含め、総合的に対策を進めてまいります。

さらに、昨今のサイバー攻撃被害のリスクの高まりを踏まえ、人材育成や情報分析などのサイバーセキュリティ対策を一層推進してまいります。また、インターネット上の誹謗中傷等に対応し、被害者の救済をより円滑にするため、「改正プロバイダ責任制限法」の着実な運用や、プラットフォーム事業者による削除等の取組みの促進、啓発活動や相談体制の強化など、総合的な対策を進めます。

視聴者のテレビ離れや、インターネットによる動画視聴の普及など、放送を取り巻く環境の変化を踏まえ、デジタル時代におけるNHK・民放の放送制度について、更なる検討を進めます。NHKについては、時代の要請に応えつつ公共放送としての使命を引き続き果たすことが重要であり、そうした考えの下で、インターネット活用業務の在り方を検討してまいります。

携帯電話用周波数の利用に関して、再割当制度の円滑な運用や新たな周波数確保などの検討を進めます。

また、公的統計を社会経済の変化に対応した有用なものとして提供し続けるため、必要な定員を確保し体制を強化することができました。引き続き、品質管理を徹底するとともに、人材育成、デジタル化を進めるなど統計改革を推進します。

### むすび

皆様の本年的ご健勝、ご多幸を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。